



～南九州市消防出初式～

防火・防災の誓い新たに

1月8日、南九州消防署において、新春恒例の南九州市消防出初式が行われ、関係者約200人が参加しました。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、式典では、消防職員・団員による演習披露、放水訓練などが披露されました。

また、表彰式では、長年の消防活動での輝かしい功績を称え、受章代表の団員へ表彰状が贈られました。



消防庁長官表彰、日本消防協会会長表彰の受章者は以下のとおりです。(敬称略)

消防庁長官表彰

●1号銀杯【昨年度退団され、勤続年数が25年以上の方】

浮辺分団	分団長	松下 千賀三
北区分団	分団長	藺田 一美
東区分団	副分団長	藺田 雄三

●2号銀杯【昨年度退団され、勤続年数が15年以上25年未満の方】

勝目分団	分団長	桐木平 輝和	北区分団	班長	志礼田 義人
霜出分団	団員	霜出 剛	南区分団	団員	今村 健吾
北区分団	団員	橋元 基実			

日本消防協会会長表彰

●精績章【永年勤続で、成績優秀な方】

霜出分団 分団長 取違 保夫

●勤続章【勤続30年】

南九州市消防団	副団長	六反田 達郎	川辺中央分団	分団長	前田 浩幸
大川分団	分団長	山下 徹志	東区分団	部長	川原 哲郎
北区分団	団員	五反田 浩	指宿南九州消防組合	消防司令補	福留 清隆

～文化財防火デー～

文化財を守り伝える



「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁が焼損したことに基づいています。1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

南九州市では、1月22日に知覧武家屋敷内の「旧高城家住宅」で防火訓練を行いました。今回は3年ぶりに消防団も出動し、知覧中央分団、手蓑分団、永里分団がそれぞれ火点への放水を行いました。



～第72回社会を明るくする運動～

全国作文コンテスト優秀賞を受賞



中福良小学校6年の若林美優さんの作文「『私を』こぼさない明るい社会に」が県の最優秀賞、全国の優秀賞（全国保護司連盟理事長賞）を受賞しました。

作文は、社会を明るくする運動のポスター標語「私をこぼしてきた世界は、私がこぼしてきた世界」という言葉から、保護司による出前授業や啓発運動をとおして感じたことなどをまとめています。

若林さんは「受賞はびっくりしました。今後も友達を大切に、素直に生きていきたい」と語りました。

～川辺給食センター跡地に食品加工工場を新設～

(株)ヨシヤ食品と立地協定



1月26日、スーパー向けの鶏肉、豚肉の加工などを行っている(株)ヨシヤ食品との立地協定式が市役所で行われました。

(株)ヨシヤ食品は、業容の拡大とともに鹿児島市からの全面移転場所として旧川辺給食センターの既存建物を活用して工場を新設します。

この協定は、工場の建設・操業が円滑に行われるよう相互協力体制を構築するものです。今回の進出によって、地域活性化や雇用の創出に大きく貢献するものと期待されています。

～人権擁護委員委嘱状伝達式～

法務大臣から「人権擁護委員」を委嘱



市の人権擁護委員として、江平定さんに法務大臣から再任の委嘱がなされました。

委嘱を受けた江平さんは、「市民が安心して暮らせるよう微力ながら努力していきたい」と抱負を話しました。

市では現在9人が人権擁護委員として委嘱され、地域の皆さんからの人権相談や、問題解決の手助けのほか、人権侵害被害者の救済、人権啓発活動などを行っています。

～鬼火焚き～

今年一年の無病息災を願う



高田地区



平山地区

1月8日に高田地区、1月9日に平山地区で鬼火焚きが行われました。鬼火焚きとは、正月の七日に竹などで作った大きなやぐらや正月飾りを焼く伝統行事です。

今年厄年を迎える人や卯年生まれの人によって点火されると、やぐらはあっという間に燃え上がり、竹のはじける大きな音と火の粉が夜空を舞う様子に来場者の歓声が響いていました。今年は雨や強風により当初の日程から延期されましたが、地区内外から多くの方が訪れ、冬の風物詩を楽しんでいました。



～男女共同参画住民講座～

みんなで学ぶ持続可能なまちづくり



12月17日、知覧文化会館で男女共同参画住民講座が開催され、地区公民館を核とした地域づくりの仕組みである「コミュニティ・プラットフォーム」や実際の取り組み事例について、3人の集落支援員から発表がありました。

参加者からは、「コミュニティ・プラットフォームのことがよくわかった」、「地区の特色を活かした前向きな取り組みが素晴らしい」との感想が寄せられました。

～葉たばこのは種式～

豊作を願って種まき !!



1月10日に穎娃町別府の葉たばこ育苗センターで、23日に加世田万世の葉たばこ育苗センターにおいて葉たばこのは種式が行われました。穎娃町別府の育苗センターでは、コーティング種子を使用し、間引きを省力化することで効率的な栽培管理を目指します。本市の令和4年産葉たばこは病害の発生や高温障害による日焼けで、反収は前年比93%となりました。参加者は、令和5年産が豊作となるよう祈願しながら種をまきました。本市の令和5年産葉たばこは、生産者18戸が面積約49haで栽培をします。

～世界が広がるスマートフォン～

初めてのスマートフォン



12月14日、ちらん夢郷館で「楽しくわかるスマートフォン体験講座」が開催され、スマートフォンに初めて触れる方など30人が参加しました。

スマートフォンでの写真撮影や音声入力などを体験し、「世界が広がりそう」、「いろいろ楽しく便利」との感想が聞かれ、半数以上の方が「生活に取り入れたい」とのことでした。

南九州市では社会全体のデジタル化が進む中、誰でも便利にデジタルサービスが使えることを目指しています。

～韓国文化理解講座～

おいしくまなぶ韓国文化



12月10日、知覧保健センターで韓国文化理解講座が開催されました。

韓国出身の県国際交流員 金 孝真(キム ヒョジン)さんから年中行事やハングル文字、伝統衣装などの韓国文化についてお話をしていただき、簡単な挨拶や自己紹介などの韓国語会話の練習もしました。

調理実習では、韓国のお餅を使った甘辛いトッポキと春雨を使った具沢山のチャプチェをみんなで作りました。